

活用事例だけじゃない

# センパイたちのアツくりリアルなストーリー 歴代 kintone AWARD グランプリはこの3社だ!

イベント中はX(Twitter)も盛り上がる!

## 現場がアプリを作れる環境を築き、大きく成長した後藤組

導入当初、私は1人で会議室に籠ってkintoneのスキルを学び、アプリをたくさん作り  
ました。しかし、まったく現場で使われず、社長から「お前がアプリを作るとするな。  
現場の人が作るような仕組みを作れ」と言われ、リスタート。まずは現場の人と一緒に  
「日報アプリ」から作り、徐々に浸透させることに成功。結果、会社にとってもなく  
はならない存在となり、**1年で残業時間20パーセント削減、営業利益は44パーセント増と  
kintoneの活用が会社の数字を変えてしまいました。**



X(Twitter)の声

- kintoneの担当でもアプリを作る訳じゃない。どうやって浸透させるか、使いやすくしていくかを考えられる土壌作りが笹原さんの仕事に!
- kintoneを導入する必殺技「キーマンを抑える」こと!
- 「これができる、あれができる、すごいでしょ!」で終わらせず、主語が自分から現場に変わっていくことで流れが変わるんですね。
- 担当者がアプリを作るのを禁止されるのって、衝撃的ですね…でも、どうしたら浸透させられるかを考えるためにはめちゃくちゃ重要なんだと思いました。

## 北海道・東北地区代表



株式会社後藤組  
笹原尚貴センパイ

## 北海道・東北地区代表



相互電業株式会社  
今野愛菜センパイ

## 業務改善だけでなく企業風土も変化した相互電業

私が愛犬ともっと一緒にいたい想いと、働き方を改善して社員を幸せにしたいという  
会社の理想からkintoneを導入しました。「現場が主導できる業務改善の環境」を築き  
ながら、**2年間で127アプリ、57スペースを作成し、30人で協力しあう1つの業務フロー  
を実現できました。**以前は1人でどうにかしていた超属人化の業務の改善と経費削減が  
できただけでなく、現場が主体的になり、会社風土まで変化したのです。

- 「犬と一緒にいたい」っていうエゴから業務改善に進んだ事例にくっと来ました。エゴって、希望の働き方なんですよね。
- kintoneを使いやすいよう、変更履歴の表示・図解・意見箱へのリンクで工夫するのは参考になりました。
- kintoneの入力のハードルを下げるといったような、「使う人に寄り添う姿勢」って大事ですよね。
- 業務改善って本気でやれば生き様が重なります。業種も年代も思想も超えて繋がる意志を感じました。



X(Twitter)の声

## 「プロにお願いする」大切さを伝えた東京ドーム

東京ドームでのイベントは、**約1,000社もの出店者と一緒に作っており、kintoneは  
出店者申請業務や拾得物管理業務などに活用しています。**スタート時は一緒に業務  
改善するプロのパートナーに開発をお願いし、プロから学んだkintone活用のノウ  
ハウを活かしアプリを作成しています。



X(Twitter)の声

- 「餅は餅屋でまずはプロに任せよう」「使いながら改善を重ねよう」など、業務改善への足取りの潔さが素晴らしい…。
- 「どうしてもできない人は紙のまま→数社だけ対応」現場ならではの発想で響いた。
- 「似たようなアプリであれば色を変える!」さっそく使ってみよう〜。
- 全部をkintoneにしない判断。大切だと思います。
- 「使う人はみんな初心者」であることを前提とした仕組み作りが重要というまとめは金言。

## 関東・甲信越地区代表



株式会社東京ドーム  
望月秀吉センパイ

涙あり笑いあり仲間あり学びありのユーザーズライブイベント

# kintone h i v e

満足度  
**96%**  
※2021年の  
アンケート  
結果より

音楽や演出も  
本当にすごい!

登壇者の本気度を感じて  
やる気が上がった!



現場のリアルな話をライブで聞けるkintone hiveでは、ときに大きく心を動かされます。

明るい成功談だけでなく、失敗した理由やkintoneを活用するコツなど、  
幅広いセンパイの経験をぜひ体感して、あなたのチームに活かしてみませんか?

## こんな方は特にオススメ

もっと社内に  
kintoneを浸透させたい  
勉強会をひらいてもなかなか難しい…  
仲間を増やすには  
どうしたらいいんだろ。



私はずっと孤独な管理者…  
もっと事例ベースの  
最新の情報が欲しい。  
同じ気持ちを共有できる  
仲間が欲しい。

会社の仲間と  
参加…



勇気を出して  
参加…



一緒に  
参加した人が  
やる気に!



仲間を見つける  
ことができた!



浸透のコツが  
わかった!



kintoneを

もっと触りたくなった!

## 「kintone hive」 とは…?

kintoneを活用しているユーザーが一堂に会し、業務改善の成功の秘訣や活用のコツ  
をそれぞれの視点で解説、貴重なノウハウやアイデアを聞けるリアルイベントです。  
毎年、全国各地で開催。そこで各地の代表が選ばれ、サイボウズの総合イベント  
「Cybozu Days」にてその年のkintone AWARD グランプリを決定します。



## 自分が登壇して 一躍有名人になっちゃう人!

「登壇しようと思ったきっかけ」や「登壇で得たもの」を聞きました

### 裏方からの初挑戦! kintone hiveが会社と人生にもたらしたもの



kintone AWARD 2020グランプリ  
株式会社東京ドーム  
望月 秀吉センパイ

登壇テーマ  
kintoneで業務改善=人のつながり

### エントリーするのに不安はありましたか?

2020年のエントリーのタイミングで導入からまだ1年くらいでした。だから正直迷いもあって、エントリーしたのは締め切りギリギリでした。しかもエントリーの時点では会社に相談してなくて…。書類審査が通ってから報告しました(笑)。「出るからには優勝したい!」という意気込みで参加して

いたのですが、kintone hiveでもkintone AWARDでも、他の登壇者の活用事例や発表内容から学ぶところが多かったです。また、**登壇したことでみなさんが私を知って**いて声をかけられることが増えました。人とのつながりの輪が劇的に広がったという実感がありますね。

### 登壇でどんな変化がありましたか?

社内広報に掲載されて、kintoneという言葉を知った人、興味を持ってくれる人が増えたなと感じますね。**他部署からkintoneの導入について相談したいという声をよくもらうようになりました。**上司が経営層にも報告したそうで、社長からも「日本一、すごいな。」と声をかけてもらいました。特にチームメンバーは喜んでくれて、泣いてくれた人も。コロ

ナ禍で明るいニュースが少ない中、社内に明るいニュースを届けることができました。**コロナ禍だからこそkintone hiveに出られて本当によかったと思いました。**



気になった人は必見!

### 開催情報や過去のkintone hiveの情報は Webサイトをチェック!



各地の開催情報や、過去のレポートなどの情報がつまった公式ポータルサイト。充実した内容で見ているだけでも楽しい。また、これまでに登壇した方へのインタビュー企画【hiveびと】が掲載されているブログkintone hive onlineもユーザーの声がもりだくさん。

kintone hive

参加方法は  
それぞれ!



## 仲間と一緒に参加する人! 参加して仲間と出会う人!

実際に参加した方からの生の声を集めました。リアルな声を聞いて感動している方も多数

### 成功した話じゃなく失敗した話はとても貴重。 ともにkintoneを使う仲間に出会える。



**kintoneの  
トレンドがわかる!**

事前にkintoneのことを調べていたのですが、全然知らない機能を知れました!

**ユーザーの  
リアルな声が聞ける!**

実際にkintoneを使用している企業の生の声が聞けて良かったです。発表を参考に弊社でもうまく運用できるようにしたいです。



**kintoneの  
仲間と出会う!**

ひとり情シスで相談できる人がいませんでした。私と同じ導入前で悩んでいる方と相談して友達が。今では飲みによくいきます。

システム管理業務はその専門性ゆえ、社内では孤独です。交流時間に同じ業界のkintone管理者とお話できたのが最高でした。

### まだまだたくさん! こんなリアルな声も

- 上級者じゃないと、参加できないんじゃないかと思っていましたが…。
- 私はプログラミングはド素人ですが、知識がないなりに個々のアプリを連携させながらプラグインを活用して、思い通りのしくみを作り上げることができるとい参考例が盛りだくさんで大変勉強になりました。
- ゴリゴリのカスタマイズアイデアの発表が多いかと思っていたので、社内でのヒントとして、役立ちそう良かったです。

### 全国各地で開催されているし、オンラインの参加もできるようになった。

- 導入からの事例を聞くことができ、ためになりました。2児の子育て中の為、オンラインでの開催だと、自宅から拝見することができてうれしかったです。
- 東京のイベントだと思っていたのですが、各地で開催もされていてオンラインでも参加できた。